

# 臨床診断学

## 【Clinical Pathognomy】

担当責任者 臨床診断学・共用試験小委員会委員長

### ねらい

臨床診断学実習は、医療面接や身体診察法などの基本的かつ実際の診察診断に関する知識を深め、臨床実習に必要な基本的臨床能力を習得する事を目標とする。

基本的な臨床技能、即ち、医療面接や身体診察法、その記録法を習得するには、講義のみならず、視聴覚機材を用いた学習、相手を要するロールプレーなどを反復実践する。また、少人数のグループに対する教員の直接指導によるチュートリアル方略で実習が行われる。

最後に、客観的臨床能力試験OSCE (objective structured clinical examination)を行う。OSCEでは、標準模擬患者によって基本的臨床技能の実践や医師患者関係を評価する。評価は、共用試験実施機構の制度に則り、他大学と評価員を交流して行う。したがって、臨床診断学の評価としてのOSCE、並びに、臨床基礎試験として実施する知識技能を問うCBT (computer-based testing)の双方に合格することにより、進級し、臨床実習に入ることが可能となる。しかし、臨床診断学の最終目標は、OSCEやCBTの合格ではなく、臨床実習、さらに医師になった際の実地臨床に必要な基本的臨床能力を習得する事である。

### 学修目標

1. 医療面接に適切な環境を作ることができる。(IV-1)
2. よい医師-患者関係を構築することができる。(VI-1, VI-2)
3. ロールプレイや模擬患者を利用して、医療面接のスキルが実践できる。(IV-1, VI-1, VI-2)
4. よい病歴と不十分な病歴を判別できる。問題点を認識し解決方法を考えることができる。(IV-3, IV-4)
5. 現病歴などの病歴聴取と記載ができる。(IV-3, IV-4)
6. バイタルサインや各種身体診察(理学所見)の実践ができる。(II-6, IV-4)
7. 臨床検査とくに血液・尿・便などの基礎的検査の必要性の説明や結果の解釈ができる。(II-5, II-6)

### 事前事後学習の方法

1. 学習支援DVDを視聴
2. 実習後にも再度、学習支援DVDの視聴、指導内容の復習

### 成績評価方法・基準

1. 3/4以上の出席で受験資格を得る。
2. OSCEは 1)「配慮」の平均が6割以上、 2)「素点」あるいは「技法」の平均が6割以上、 3)「概略評価」の平均が3以上の全てを満たせば合格。

### ○教科書

「臨床参加型臨床実習に参加する学生に必要とされる技能と態度に関する学習・評価項目」(医療系大学間共用試験実施評価機構) 伴信太郎 「基礎的身体診察法」(VTR)全5巻 (メディカル情報センター)

### ○参考書

診察参加型臨床実習に必要な技能と態度 教育学習用DVD(医療系大学間共用試験実施評価機構)  
メディカルインタビュー Cohen-Cloe SA, 監修 飯島克巳ほか (メディカル・サイエンス・インターナショナル)  
医療面接の基本 津田 司 監修 日経メディカル (日経BP社)  
フィジカルアセスメントのための診断学教育ビデオシリーズ 全10巻 by Donald W. Novey  
小児診断学ビデオプログラム 全4巻 by Walter Tunnessen (日本語訳)

## 4年次

講義:2201講義室

年月日	曜日	時限	授業項目(内容)	コアカリ項目			担当者
				大項目	中項目	小項目	
R3.12.10	金	II	オリエンテーション				委員長
"	"	III	診察技法	G	1	(1)	医学教育担当教員 山本 幸代
"	"	IV	精神障害者の診かた	"	2	(2)	精神医学 吉村 玲児
12.13	月	I,II	神経系の診かた(VTR、解説、実習)	"	"	"	神経内科学 大成 圭子
"	"	III,IV	医療面接(患者へのアプローチ)VTR、解説 他	"	"	"	医学概論 藤野 昭宏
12.14	火	I,II	診療録の記載の仕方(POS、problem list)および演習	"	"	"	医学教育担当教員 山本 幸代
"	"	III	産婦人科の診かた	"	1	(2)	産科婦人科学 吉野 潔
"	"	IV	心療内科患者の診かた	"	"	(1)	神経内科学 兒玉 直樹
12.15	水	I~IV	救急医学(VTR、解説、実習)	"	4	"	救急医学 真弓 俊彦
12.16	木	I,II	神経系の診かた(VTR、解説、実習)	"	"	"	神経内科学 足立 弘明
"	"	III,IV	神経系の診かた(実習)	"	"	"	神経内科学 足立 弘明
12.17	金	III	頭頸部の診かた(VTR、解説、実習)	"	"	"	産業医臨床研修等指導教員 柴田 美雅
"	"	IV,V	頭頸部の診かた(VTR、解説、実習、小試験)	"	"	"	産業医臨床研修等指導教員 柴田 美雅
12.20	月	I,II	肺・胸郭の診かた(VTR、解説、実習)	"	"	(2)	呼吸器内科学 矢寺 和博
12.22	水	II	外科基本手技/手洗い・ガウンテクニック(VTR、解説)	"	"	(3)	第1外科学 佐藤 典宏
"	"	III,IV	外科基本手技/手洗い・ガウンテクニック(VTR、解説、実習)	"	"	"	第1外科学 佐藤 典宏
R4.1.4	火	I,II	腹部、直腸、肛門、外性器、ヘルニアの診かた(VTR、解説、実習)	"	1	(1)	第3内科学 久米 恵一郎
"	"	III,IV	腹部の診かた(実習)	"	"	"	第3内科学 久米 恵一郎
1.5	水	I,II	心臓・血管系の診かた(VTR、解説)	"	"	"	第2内科学 荒木 優
"	"	III,IV	心臓・血管系の診かた(実習)	"	"	"	第2内科学 荒木 優
1.6	木	II	四肢脊椎の診かた (VTR、解説)	"	"	"	整形外科 辻村 良賢
"	"	III,IV	バイタルサインの取り方(VTRと解説)、実習	"	1	"	医学教育担当教員 山本 幸代
1.7	金	I,II	医療面接の進め方、取り方、VTR、解説、実習	"	"	"	医学概論 藤野 昭宏
"	"	III,IV	医療面接の進め方、取り方、実習	"	"	"	医学概論 藤野 昭宏
"	"	V	乳腺・腋窩の診かた(VTR、解説、実習)	"	"	(1)	第2外科学 田嶋 裕子
1.11	火	I,II	小児科の身体診察(解説)	"	"	(2)	小児科学 楠原 浩一
"	"	III,IV	小児科の医療面接(解説、実習)	"	"	(1)	小児科学 楠原 浩一
1.12	水	I~IV	救命処置(VTR、解説、実習)	"	4	"	救急医学 真弓 俊彦
1.13	木	II	OSCE オリエンテーション	"	"	"	医学教育担当教員 山本 幸代
"	"	III,IV	バイタルサインの取り方(実習)	"	"	(3)	医学教育担当教員 山本 幸代
1.14	金	III,IV	身体診察(頭頸部、胸部、神経系、腹部、外科、救急)実習	"	"	"	医学教育改革推進センター・医学教育担当教員 浦野 元・山本 幸代
1.17	月	II	医療面接 まとめと対策	"	"	(1)	医学概論 藤野 昭宏
"	"	III,IV	身体診察(頭頸部、胸部、神経系、腹部、外科、救急)補講	"	"	(3)	医学教育改革推進センター・医学教育担当教員 浦野 元・山本 幸代
1.18	火	I,II	身体診察(頭頸部、胸部、神経系、腹部、外科、救急)補講	"	"	"	医学教育改革推進センター・医学教育担当教員 浦野 元・山本 幸代
1.19	水	I~V	OSCE 本試験	"	"	"	委員長
1.20	木	II	OSCE 講評	"	"	"	委員長